

# 数 学

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

啓 林 館

数 研 出 版

日 本 文 教 出 版

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい数学）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 繰り返し学習や典型的な誤答例がある構成で、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう配慮されている。</li> <li>・ 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、考察する力や表現する力が高まりやすいよう工夫されている。</li> <li>・ 問題解決の過程を振り返って評価・改善する態度や数学的な見方・考え方を活用する態度が養えるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1) 多様な考えで解ける問題を扱った後に、具体的にノートにまとめる例を示すことで、1時間の授業の流れやノートの作り方に見通しを持ち、発達段階に応じて思考力・表現力を高めるよう配慮されている。 (2) 身の回りの問題の解決を、章全体で問題発見・解決のサイクルを回しながら行うことで、興味・関心をもちながら学べるよう配慮されている。 (3) 「深い学び」のページで、問題解決のどの段階で主体的・対話的に学習できるかが分かるよう工夫されている。 (4) 基本的な内容の理解を確かにした問題解決で生かした「見方・考え方」が他の問題の解決で生かさせたりするよう配慮されている。 (5) 色覚特性に適應するカラーユニバーサルデザインや見やすく読み間違えにくいUDフォントを使用し、分かりやすく読みやすい紙面になるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  （「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	(1) 各章のとびらにおいて、育成を目指す数学的に考える資質・能力が明確になるよう工夫されている。 (2) 新たな学習内容と既習内容を関連付けやすくしたり、生徒の発達に即して系統化したりすることで、単元の流れが俯瞰でき、問題解決で働かせた見方・考え方や表現力が高まるよう配慮されている。 (3) 生徒のイラストの会話や各章の利用の問題での見出しが、数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的な活動を促すよう配慮されている。 (4) 学習に関連した読み物や他教科と関連のある題材、数学を社会に活用している人の紹介をし、それらに関わる発展的な問題を示すことで、数学のよさや有用性を実感できるよう配慮されている。 (5) シミュレーションや動画などのデジタルコンテンツを提示したり、つまづく生徒にヒントとなる言葉を示したりして生徒の問題理解や追究に生かせるよう工夫されている。 (6) 「黒板ボード」のイラストや□の囲み、「虫眼鏡マーク」で、基礎的・基本的な知識や問題解決で働かせた大切にしたい見方・考え方が明確になるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題発見・解決の過程を充実させ、知識及び技能が身に付き、思考力・判断力・表現力が高まるよう工夫されている。</li> <li>・ 問題解決で働かせる見方・考え方を引き出し、意識付ける工夫をし、見方・考え方が豊かになるよう配慮されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	大日本図書（数学の世界）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎的・基本的な知識及び技能が身に付けられるように、既習内容と関連させ、繰り返し学習ができるよう配慮されている。</li> <li>・ 数学的な見方・考え方を働かせて、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力が身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・ 数学を学ぶよさ、考え方の多様性を実感し、よりよく物事を解決していく態度を養えるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕	(1) 導入では、日常生活や社会と数学を関連させた学習問題が多く、数学と身の回りの事象とのつながりを感じながら取り組めるよう配慮されている。 (2) 説明する活動では、複数の考え方や表し方を読み取り、それを考察、比較して、数学的な思考力・判断力・表現力が身に付くよう配慮されている。 (3) 数学的な表現を使った生徒同士の話し合いの様子を示し、表現力、コミュニケーション能力が身に付くよう工夫されている。 (4) 補充問題では「プラスワン」などを利用し、個々の理解に応じた問題を行い、知識及び技能の習得が図られるよう配慮されている。 (5) 学年ごとに文字の大きさを変えたり、4色刷りやUDフォントを取り入れたりするほか、学習の流れが捉えやすい紙面構成、効果的な写真で、興味・関心が高まるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕	(1) 巻頭で「問題発見・問題解決の流れ」「数学的な見方・考え方」を示し、深い学びの実現につながるよう配慮されている。 (2) 各小単元で、学習の「めあて」が示してあり、追究内容や方法を明確にして追究ができ、既習を生かした解決の仕方を学べるよう配慮されている。 (3) 「たしかめよう」では基礎的・基本的な定着問題、「プラスワン」「力をのばそう」などではより発展的な問題を扱い、個に応じた指導ができるよう配慮されている。 (4) 「活用・探究」「マスフル」では、学習内容に関連させながら身の回りにある数学に目を向けることができたり、他教科の学習にも生かせたりすることができるよう配慮されている。 (5) シミュレーション、動画などのコンテンツが利用でき、生徒の興味・関心を高め、理解が深まり、効果的に学習を進めていけるよう工夫されている。 (6) 「ふり返ろう」では、理解の確認や学習したことのよさに気付くことを促す質問があり、学びの振り返りや数学的な表現を用いたコミュニケーション能力を伸ばせるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題発見・解決の流れで取り組み、数学的な見方・考え方を働かせて問題解決ができるよう配慮されている。</li> <li>・ 数学を学ぶことの意義や有用性が紹介され、日常生活や社会と関連させて興味・関心を高められるよう配慮されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">学校図書（中学校数学）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りの事象や数学の事象から疑問を見だし、数学的に表現したり、処理したりできるよう配慮されている。</li> <li>・ 既習内容をもとにして論理的に考察し、数量や図形の性質を見いだすことで、統合的・発展的に考察できるよう工夫されている。</li> <li>・ 身の回りで数学が役立っている場面を取り上げ、生活や社会に生かそうとする態度を養えるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本文や問いなどは易から難へと段階的なステップを踏んで学習を進められ、図、式、説明図なども理解の手助けとなるよう配置され、複数の考え方を示すなど配慮されている。</li> <li>(2) 生徒自ら「問い」をもてるようにしたり、問題解決の過程を振り返ってより効率的な方法を見いだしたりしていけるよう配慮されている。</li> <li>(3) 身の回りの事象から問題を見だし、数学化して問題を解決していくよう展開され、対話的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>(4) 既習内容が確認でき、振り返りの場を設定することで、対応箇所に戻って学び直しができるよう配慮されている。</li> <li>(5) すべてにおいてカラーバリアフリーになるよう配慮され、色覚特性に配慮し、色の違いで区別するのを避け、記号などの違いで判断できるよう工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各章とも、導入、本文や例題、その習得を図るための問題と一貫した学習ができるよう配慮されている。</li> <li>(2) 章の配列に一貫性をもたせ、基礎的・基本的な内容が習得できるように、既習内容を示したり、適用問題を用意したりするなど配慮されている。</li> <li>(3) 代表的な8つの数学的な見方・考え方の例を示したり、友と関わりながら統合的・発展的に考えられるようにしたりして配慮されている。</li> <li>(4) 本文中や章末、巻末に発展的な内容の「深めよう！」や教科等横断的な課題の「疑問を考えよう」を設け、個に応じた指導で活用できるよう配慮されている。</li> <li>(5) 「用語・記号の由来」のコラムや、身の回りにある建造物などの写真を取り上げたり、動画コンテンツを準備したりして指導に生かせるよう工夫されている。</li> <li>(6) 項や章ごとに、生徒自身が学習をまとめられるようにし、パフォーマンス課題やパフォーマンス評価の手法を取り入れ、個に応じた評価ができるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りの事象から問題を発見し、見方・考え方を働かせて主体的に解決する力を養えるよう展開が工夫されている。</li> <li>・ これからの社会の中で生きていくために必要な資質・能力を育成することができるよう内容が工夫されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">教育出版（中学数学）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 習得した知識及び技能のよさを具体的な言葉で示し、問題解決に向けて活用できるよう配慮されている。</li> <li>・ 日常生活や社会の事象と数学の事象を関連させながら、数学的活動を通して、思考力や表現力が育成されるよう配慮されている。</li> <li>・ 身近にある問題を取り上げることで学習意欲を高め、数学と日常生活のつながりを実感できるよう工夫されている。</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 多様な見方・考え方をする際の着眼点や、課題の捉え方を、折り込みに表記することで常に意識しながら学習を進めることができるよう配慮されている。</li> <li>(2) 課題解決への学習活動の流れを示し、試行錯誤しながら、数理的に捉えていく過程を体験することで、課題解決力の高まりを実感できるよう配慮されている。</li> <li>(3) 日常生活の事象を数学化して捉えたり、自ら問題意識をもって主体的・対話的に学習したりできるよう工夫されている。</li> <li>(4) 「学びのマップ」において前年度の既習内容とのつながりが明記されており、学び直しができるよう配慮されている。</li> <li>(5) カラーユニバーサルデザインで判読しやすい配色になっていたり、中心的な内容と補足的な内容が紙面上で分けられていたりするなど学びやすい紙面になるよう工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 既習内容を活用させながら論理的に考察して問題を解決し、生活に生かそうという流れを意識した配列になるよう工夫されている。</li> <li>(2) 各単元で具体的な場면을導入とし、既習内容の定着を促すための定着問題や振り返り、誤答例を出すなどの個々の生徒の学習状況に応じて配慮されている。</li> <li>(3) 様々な数学的な見方・考え方の例を提示し、根拠を基にしながら考えたり、表現したりすることのよさが感じられるよう配慮されている。</li> <li>(4) 既習内容を活用させながら取り組む問題や、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る問題など個々の生徒の学習状況に生かせるよう配慮されている。</li> <li>(5) 巻末の数学的な用語の索引や、挿絵にあるノートの取り方のポイントから、個々の生徒に応じた学習に生かせるよう工夫されている。</li> <li>(6) 章末には学習した内容の振り返りが項目ごとにまとめられているとともに、章末問題においてそれぞれの評価規準を示し、個々の生徒が自己評価できるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 章の始めに既習内容の確認、章末に学習のまとめ、ノートの例があり、基礎的・基本的な力が定着するよう配慮されている。</li> <li>・ 数学が日常生活に利用されている場面を取り上げることで数学の実用性や学ぶよさを実感できるよう配慮されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	啓林館（未来へひろがる数学）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学を主体的に生活や学習に生かし、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう配慮されている。</li> <li>・ 数学的に考える資質・能力を育むために、数学的な見方・考え方にふれ、それらを働かせて考えられる場面設定が工夫されている。</li> <li>・ 数学を積極的に活用しようとする態度や問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとする態度を培えるよう工夫されている。</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 数学が生活や社会の中で有用に働いていることを実感しながら、主体的に学習に取り組めるよう題材や表現の仕方など配慮されている。</li> <li>(2) 問題発見・解決の過程を段階に分けて示すことで、自分から問題を発見したり解いた問題をさらに発展させたりできるよう配慮されている。</li> <li>(3) 「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」では、数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動を取り入れるなど工夫されている。</li> <li>(4) 「ふりかえり」で既習内容を具体的に学び直したり、章末問題や「もっと練習しよう」で反復学習したりできるよう配慮されている。</li> <li>(5) 紙面の内容を判別しやすい配色やUDフォントを使用したり、意味改行などを行ったりして、内容を理解しやすいよう工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 表表紙横開きと裏表紙縦開きの2部構成とし、生徒の個性に応じてバランスよく学習が進められるよう配慮されている。</li> <li>(2) 具体的な「例」を豊富にして学びやすくするとともに、生徒の思考を意識して具体から抽象へ、基礎から発展へとといったステップで学習が進められるよう工夫されている。</li> <li>(3) その学習で使った数学的な見方・考え方を「虫眼鏡」として示し、授業の中で自然にふれた数学的な見方・考え方を改めて振り返るとともに、繰り返しふれられるよう配慮されている。</li> <li>(4) 学習内容を身の回りで活用する場面を設けたり、活用されている場面を紹介したりしながら、数学を学ぶ意義や有用性を実感できるよう配慮されている。</li> <li>(5) 統計ツールを活用できるようにしたり、紙面では表現できない動きを動画で準備したりすることで、指導に生かせるよう工夫されている。</li> <li>(6) 「学びをたしかめよう」では、問題の設定意図と関連ページを示すことで、生徒自身は自己評価、指導者には評価に役立つよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒が興味・関心を深めて数学を学ぶ楽しさや意義を実感しながら自分の学びを広げていけるよう工夫されている。</li> <li>・ 数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通して、主体的に学習する態度を養うことができるよう工夫されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	数研出版（これからの数学）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既習内容の振り返りを基に、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう配慮されている。</li> <li>・ 様々な事象の性質を見だし、数学的活動を通して、思考力・判断力・表現力が身に付くよう配慮されている。</li> <li>・ 身近な題材や他教科と関連する題材を通して、興味・関心を喚起し、学びを生活に生かそうとする態度を養うよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 問題解決型の問題や身近な題材を扱い、学習意欲を喚起し、多様な考え方を数学的に表現し、伝え合うことを通して、数学的な見方・考え方が身に付くよう配慮されている。</li> <li>(2) 生徒や教師の対話内容を考えることで、課題を見付けたり、学習の見通しをもったりして活動し、得られた結果を解釈し、統合的・発展的に考える力が身に付くよう配慮されている。</li> <li>(3) 章末に他教科や生活と関わる題材を取り上げ、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養えるよう工夫されている。</li> <li>(4) 各章の始めの「ふりかえり」で、既習内容の系統的な振り返りや体系的な知識及び技能の確認ができるよう配慮されている。</li> <li>(5) 図やグラフの回りにスペースを大きくとってかき込みやすくし、知識のつながりが配色やデザインと関連付けて視覚的に分かりやすくなるよう工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、系統的に学習できる教材の配列となるよう配慮されている。</li> <li>(2) 「確認問題」では、復習する内容を探しやすくなるように関連するページを示し、基礎的・基本的な知識及び技能が身に付くよう配慮されている。</li> <li>(3) 「発展」で、その学年での学習範囲を超えた内容が、系統的な流れで自然な箇所に配置され、個の意欲に応じて発展的に考えられるよう配慮されている。</li> <li>(4) 学習内容に関連する題材や内容を深める活動を取り上げ、結果を類似の事象に発展させて、思考力・判断力・表現力が身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>(5) 動画コンテンツを利用して視覚的な理解を支援したり、「数学旅行」で、身近な題材や他教科と関連する題材を取り上げ、興味・関心を喚起したりして、主体的に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>(6) 巻末の練習問題で、章の内容を確認する問題と発展的な問題を配置し、いろいろな問題を解決する力が身に付くよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な題材を扱うことで学習意欲を喚起し、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう配慮されている。</li> <li>・ 学んだことを深める問題を2部構成で取り上げ、思考力・判断力・表現力が身に付くよう配慮されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">日本文教出版（中学数学）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学的な見方・考え方を働かせて知識及び技能を生かす活動を通して、基礎的・基本的な内容を習得できるよう配慮されている。</li> <li>・ 数学的な表現を用いて筋道を立てて説明し合う学習を設け、思考力・判断力・表現力を育成できるよう配慮されている。</li> <li>・ 学習のめあてや例題の意図を明示することで、生徒が目的意識をもって主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1つの問題から生徒の多様な考え方を生かせる学習活動を設定し、発達の段階に応じて数学的な処理の仕方を学べるよう配慮されている。</li> <li>(2) 身近なことがらを問題として扱うことで、生徒が自身の経験や既習内容と結び付け、数学を学ぶよさや有用性を実感できるよう配慮されている。</li> <li>(3) 「学び合おう」では、問題解決的な学習の流れが明示され、自分の考えを説明し、他者と学びを深められるよう工夫されている。</li> <li>(4) 単元前に関連する既習内容を振り返る場面が設けられ、節末、章末、巻末で繰り返し学習ができるよう配慮されている。</li> <li>(5) UDフォントを使用するとともに、線の種類を変えたり、図表に文字や形などを付加したりするなど、色以外にも情報が伝わるよう工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 単元の導入で既習内容と関連付けた学習活動を促し、基礎的・基本的な内容の習得を図った指導ができるよう工夫されている。</li> <li>(2) 章の構成に一貫性をもたせたり、扱う題材に関連性をもたせたりするなど、生徒の発達の段階に応じて学習が深まるよう配慮されている。</li> <li>(3) 働かせる数学的な見方・考え方を明確にし、生徒の思考に沿った学習を示したり、問題を振り返る場面を意図的に設けたりすることで、論理的、統合的・発展的に考えられるよう配慮されている。</li> <li>(4) 「チャレンジ」として応用問題を出題したり、節末の「基本の問題」で問題ごとに戻るべき箇所を示したりすることで、個に応じた学習に生かせるよう配慮されている。</li> <li>(5) 動画コンテンツでの視覚的支援や、キャラクターの吹き出しで生徒に追究の見通しをもたせるなど、学習指導に生かしやすいよう工夫されている。</li> <li>(6) 問題には「考えよう」や「説明できるかな？」などのマークがついており、マークの種類・有無によって指導と評価が明確になるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各単元で学び直しを重視した内容構成により、基礎的・基本的な内容の習得を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>・ 「学習のめあて」や「表現の例」など、生徒が1時間の授業で主体的に学習に取り組んでいけるよう配慮されている。</li> </ul>